四月の園芸センターだより

このところ急に気温があがり、木々の芽や草花の芽もひと雨ごとに大きくふくらんでいます。郊外では春耕のトラクターの音が響き、待ちに待った春の訪れを感じさせます。

さて、園芸センターでは、これから次々と花木や草花が開いてゆきます。ツバキ、ハナカイドウ、ミツバツツジ、コブシ、トサミズキ、ユキヤナギ等。また、花壇では、花木園にチューリップの原種、五十三品種約千球が植えてあります。ごく矮性の身体には、不釣合な大きな原色の花を付けます。葉に黒い斑の入るもの、枝咲きのもの等々、市販されているチューリップにはない楽しいものがたくさんあります。中央の大花壇には一万球のチューリップが植栽してあり、見ごろは今月下旬から来月の上旬頃となります。園内の樹木の葉がすっかり展開し、ミツバツツジの目のさめるような紫色でおおわれるこれからの季節がセンターの一番の見ごろとなります。今年も皆様のご利用に添えるよう、ベンチ、遊歩道等の整備をし、お待ちしておりますので、どうぞご家族連れでおいでください。

家庭園芸

ご相談は 園芸センター（☎86—1034）へ。月曜日は休園です。（月曜が祝日のときは火曜日休園）

明鏡と高志に引き継ぐ

定時制 鏡ヶ岡・白山・市立工業 33年の歴史に幕

鏡ヶ岡高校、白山高校定時制、市立工業高校定時制が、さる三月で閉校しました。これら三校は、いずれも昭和二十三年に設立されたもので、働きながら学ぶ多数の高校生を送り出しました。今年度からは、鏡ヶ岡と白山が統合し明鏡高校に、市立工業定時制は高志高校定時制に引き継がれます。

鏡ヶ岡高校は、昭和二十三年に沼垂高校定時制として開校し、三十九年に鏡ヶ岡高校として独立しました。二十三年間の卒業生は約七千四百人。一時は、生徒数が二千人を越え、全国有数のマンモス校でした。

クラブ数が多く、その活動はとても盛ん。特に、野球部や卓球部の活躍はめざましく全国に「鏡ヶ岡」の名前をとどろかせました。

在校生の栗原トモ子さんは、「家庭的で、伝統の重みを感じさせる学校でした。運動会や文化祭などを、みんな一緒になって作り上げるんですよ。楽しいことばかりでした。これからは人数が多くなって友だちが増えるし、明鏡高校の伝統を私たちの手で作っていきます」と語ってくれました。

なお、鏡ヶ岡高校では、その伝統を長く残すため、校歌の一節を刻んだ閉校記念碑を建てました。（写真）

校歌の一節を刻んだ鏡ヶ岡高校の開校記念碑

卒業生の声

名前は消えても 学ぶ情熱を持ち続けて

白山高校定時制は、昭和二十三年、定時制独立校として開設されました。以来、約三千人の卒業生を送り出しました。

第三回の卒業生である高橋幸雄さんは「職場で辛いことがあっても、教室に入ればみな同じ仲間意識が働き、目を輝かせて励まし合いました。駆け足で来たり、吹雪の中を登校する苦しさなど、いろいろなことがありましたね。卒業式では、四年間よくぞがんばったという満足感でいっぱいでした。

白山高校の名は消えますが、白山高校で学んだ情熱は、いつまでも生き続けてほしいですね」と、思い出を語ってくれました。

市立工業高校定時制は、昭和二十三年に機械科が誕生しました。二十六年に普通科、三十六年に電気科（普通科募集停止）を開設し、約二千人の卒業生を生み出しました。

第二回卒業生の前川清一さんは、「六時からの授業に出るために、仕事を早くひけるのに苦労しました。でも、みんな本当に勉強がしたくて通っていたから、楽しかったですよ。同じ苦労をしただけに今でも毎年クラス会を開くほど、つながりが強いですね。学校が移ってしまうのは寂しいけれど、高志でもがんばってほしいですね」と語っていました。

なお、今年度からは、鏡ヶ岡高校と白山高校定時制が統合され「市立明鏡高校」としてスタートします。校舎は、白山高校を定時制の独立専用校舎として使用します。明鏡高校では、今日入学式が行われ、約四百人の生徒が学ぶことになります。

一方、市立工業定時制は、「市立高志高校定時制」に引き継がれます。校舎は、昨年四月に、姥ヶ山に新設された高志高校を使用します。

市長随想

竈（かまど）のうた

「竈（かまど）のうた—娘がつづる母たちの歴史」を読む。新聞でも報道されて興味をもっていたのであるが、先日その一冊を寄贈され早速読みはじめた。この「竈」という文字はいまは使われていないし、飯を炊くのはほとんど電気やガス釜だろうから、若い人にとってこの「竈」の存在すらわからないだろう。私の母はこれを「へっつい」と呼んでいて、その前にしゃがみこんで薪をくべ、飯を炊き汁をつくっていた。

この本を読んで、自分たちの母親の生きざまを、眼をそらすことなくじっと見つめている十五人の新潟市女性史クラブ会員の姿がよくわかるような気がする。

そこにはその時代の底辺を、耐えながら支えてきた、ドロドロした人間の生活—女の生活が描かれている。

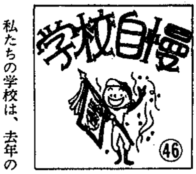
しかし、この姿は男の私にはほんとうのことはわからないと思う。

歴史は権力の側からの、そして男の側からのもののように思える。そしてその時につくられた政治、社会、経済のうごきの中におさえこまれた庶民があり、女はすべてそれであった。少くともそれは戦前までつづいていた。ここにあるのは、十五人の母親に代表されるすべての女の、この時代に歯をくいしばって耐えぬいた生きざまであり、女の昭和史である。

「いまでも働くことが楽しみというその顔に、暗いかげりは見られない」と書かれている母の背中に、話したがらないという過去の差別や苦しみの大きさを、会員たちは感じとっているにちがいない。会員たちはそこに何を学び、大きく変ったこの時代を、どのようにして生きていこうとするのか、これからもこのグループの活動はつづく。

（三月二十二日）

新潟市長 川上七四八郎



力を合わせ 伝統づくり ～東青山小学校～

私たちの学校は、去年の四月開校した真新しい学校です。鉄筋四階建てで、正面玄関はとても立派です。学校の屋上からは、信濃川の流れが見え、遠くには、まっ白に雪をかぶった山々が見えます。

この立派な校舎に負けず児童会活動がとてもさかんです。十一月には、学校さんおめでとう会を開きました。この会は、学校たん生を全校で祝い、おみこし、お祝いコールなどを作りました。この他にも、あいさつ運動などをやりました。あいさつ運動では、あいさつろうかを作り、そこでは知らない友達にもあいさつをしていくようにしました。

このように、私たちの学校では、今、よい伝統を作っていこうと力を合わせ、がんばっています。

井上佳子（六年）

メモ 青山二六一—一、昭和五十五年創立、児童数七百十一人、井田功校長

学校誕生会のおみこしかつぎ

早起き野球大会 申し込みは4/13日まで

申し込み 四月十三日まで（平日は午前九時～午後五時、土曜は正午まで、日曜は受け付けません）に、事務局備え付けの所定用紙で、直接市体育課「早起き野球大会事務局」（一番堀通三の一、市陸上競技場内）へ。※電話、郵送による申し込みは受けません。

問い合わせ 早起き野球大会事務局（☎67—一八二一、または☎67—一八三四）へ

※なお、詳細は「市報にいがた」三月十五日号に掲載してあります。

在宅ねたきり老人 車イスをお貸しします

市では、在宅の寝たきり老人の方に、日常生活の用具を貸し出しています。どうぞご利用ください。

●**車いす**（折りたたみ式） ねたきり老人が通院するときや、散歩などに使用いただけます。折りたたみ式ですので簡単な操作によって必要なとき組み立てて使用できるもので、場所もとらないで便利です。

申し込み 市老人福祉課（☎28—一〇〇〇）へ

＊…＊…＊…＊…＊

消費者協会 特別セール

消費者が選んだ品を、消費者が参加して決定した値段で販売します。

日時 四月九日～十四日

会場 大和新潟店七階大ホール

※消費生活展も併催します。

表装講習会

日時 4月19日～6月末日の間、午後1時～4時（計8回）
会場 北部公民館（稲荷町）
内容 茶掛け作り
定員 60歳以上の方15人
費用 テキスト、ハケ（3本）、定規、カッター等実費（手持ちがあれば持参）
申し込み 4月14日までに往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、碇谷義雄（二葉町1の820、☎22—4757）へ

おわび

このほど、皆さんにお届けしました**"ひろば"** №4の文中「あのまち このまち」の記事中、山の下神明神社の春祭りが5月の第3月曜日とあるのは**4月29日**の誤りでした。おわびして訂正します。

園芸センター講座

会場 市園芸センター研修室
定員 各講座50人（先着順）
申し込み 電話で市園芸センター講習会係（☎86—1034）へ

～椿講座～
日時 4月8日午後1時15分～3時15分
テーマ 椿の剪定と植えかえ
講師 市園芸センター職員

～朝顔講座（4回シリーズ）～

	月日	時間	テーマ
1	4月12日	午後一時十五分～三時十五分	朝顔づくり準備
2	5月10日		種まきと小鉢移植管理と本鉢定植の準備
3	6月14日		本鉢定植とその後の管理
4	7月12日		本鉢の管理と最後の仕上げ種どりの注意

講師 湯田政治氏（新潟大輪朝顔会会員）

春の琵琶演奏会（入場無料）

日時 4月12日午後零時半～
会場 厚生年金会館

鳥屋野地区公民館 会員募集

会場 鳥屋野地区公民館（新和113—30）

コース	内容	講師	日時	経費(月)	申し込み
茶道クラブ	茶道の基本（石洲流）	土田和子	第2・4土曜 午後7時～9時	運営費 1,000円	阿部悦 ☎83—2707
かえで会	押し絵	阿部悦	第1・3木曜 午前10時～正午	運営費 500円 材料費 2,000円	阿部悦 ☎83—2707
まりの会	御殿まりの製作	時田武子	第2・4水曜 午前10時～正午	運営費 200円 材料費 1,000円	津野芳子 ☎74—0557 ※夜間のみ
竹映会	尺八（都山流）譜の読み方奏法の基本	小林映山	第1～4水曜 午後7時～9時	運営費 2,000円	鳥屋野地区公民館 ☎85—2371

木戸地区の子連れお母さんへ 「メダカの会」会員募集

日時 4月16日～来年3月の毎週木曜日午前10時～正午
会場 木戸公民館
対象 2～3歳の子供とその母親20組
内容 絵本の読み聞かせ、体操、自由遊び
会費 月300円程度
申し込み 伊藤（☎73—3877）へ

南部公民館 会員募集

会場 南部公民館（関屋金鉢山町）
●**キャンパス南**（油絵）
日時 毎週木曜日午後6時～8時
講師 畠山恒夫（関屋中教諭）
会費 1,200円（1ヵ月分）
申し込み 皆川（☎75—5233）へ
●**あじさいの会**
駒子の紙人形作りを楽しむ集い
日時 4月20日から毎週月曜日午前10時～午後1時半
会費 600円（1回分、材料費）
申し込み 羽仁（☎67—9230）へ※午後7時～9時

「コーラス火曜日」へのお誘い

日時 毎週火曜日午前10時～正午
会場 石山地区公民館
会費 月1,000円
講師 遠藤道子
内容 やさしい二部合唱、三部合唱、発声練習。※お子さん連れも歓迎します
申し込み 中山チヅ（☎76—0202）へ
※4月は14日から開始します。